



職人らが一足一足を丁寧に仕上げる

静岡市葵区平和の住宅街の一角。従業員15人程度の小さな町工場で一足一足、丁寧に手作りされる下駄は、履き心地の良さを、全国に多くの固定ファンを持つている。



特徴は、驚くほどのフィット感。履いてみると、足裏の形に合わせて加工され、木の下駄が、つま先、かかと、土踏まずにぴったりと吸い付く。マホガニーやヒノキなどの木材が使用されており、履き込むほどに風合いが出てくる。鼻緒の内底にはクッション材、下駄底には合成ゴムが用いられており、履く人への心遣いが随所に感じられる。「す

# 下駄 洋装に合う今風に

しずおか経済

## 水鳥工業 (静岡市葵区)



履き心地にこだわりながらもスタイリッシュな商品

1937年創業。商品は軽度なものなら修理に依りており、毎年多くの依頼が舞い込む。5、10年にわたる履き込み購入者もいるという。商品は直営のウェブショップなどで購入できる。

「さげが痛くなる」、「歩きづらい」といった下駄に対する従来の固定概念を覆す一品だ。下駄の木の下駄を作る業者として戦前に創業した。戦

後、洋装が普段着として定着するのに合わせて、人々の下駄を履く習慣は薄れた。履物メーカーとして事業を続けるため、1960年代に入ってからサンダル、シューズの加工業に移行した。近年になって、競合他社は大量生産ができるサンダル事業などの生産拠点を海外に移した。安価な製品が国内に流入し、価格競争で厳しい状況となった。そこで考えた結果、原点回帰、そして「新しい下駄」の製造を目指すことになった。1989年のことだ。企画・営業を担当する島田文美さん(41)は、「普通の下駄ではなく、『サンダルのように履ける』『現代人の服装に合わせやすい』といった基本理念がありま」と話す。今も試行錯誤を重ねながら、様々な新商品を生み出し続けている。もともと、静岡は下駄との関わりが深い。江戸時代以降、東海道の中心として各地の流行が伝わり様々な履物が作られていた。その中で、明治に入ってから塗り漆を施した「塗下駄」が東京などで好評を得

た。細かな細工が施された豊富なデザインが特徴の「駿河張下駄」は、今も静岡を代表する工芸品として知られている。地場産品である下駄を現代に合う形で表現した商品は、口コミなどで評判を呼び、全国各地で販売されるようになった。パリやニューヨークで展示会を行い、日本ならではの履物と質の良さを知ってもらったことで、外国のファンが増えた。大半が1万円台の商品でも、年間数千足が売れている。昨年新型コロナウイルスの感染拡大の余波を受け、静岡市内の直営店を閉店し、経営戦略の転換を余儀なくされた。それでも、島田さんは「新しいデザインを考えているだけでなく、他業種とのコラボレーション企画を検討していきたい」と意気込んでいる。下駄と共に製作している室内履きも人気商品だ。県内でも新型コロナウイルスの自粛ムードでストレスのたまる日々が続く。伝統ある心地良い履物を部屋で楽しみながら過ごすのも、一興かもしれない。(古屋祐治)

## 三島甘藷の甘み「のっほ



新商品の「三島甘藷スイーツポテト

ロングセラーのご当地菓「らるる」ブランドの「バンデロール」(沼津市)は1日、三島市特産

クリームに練り込む

のっほパンは1978年の販売開始から40年以上にわたって愛されてきたロングセラー商品。「三島甘藷スイーツポテトのっほは、バンデロールと三島市、JA三島函南などが企画し、市農商工連携・6次産業創出事業費補助金を活用した。主要な原料の三島甘藷は、箱根西麓で栽培されているブランド野菜で、上品な甘み特徴。市内の製菓所でペースト状に加工した後、カスタードクリームに

## 浜松・花の名所で

スタンプ集めて

浜松・浜名湖ツーリズムビューロー(浜松市)は、花の見どころを巡りスタンプを集める「浜名湖花めぐり集印帳」の販売とスタンプの設置を始めた。浜名湖周辺を中心に18か所にスタンプを設置し、複数の施設を巡ってもらうのが狙い。今年が3回目、1日にスタートした。集印帳は1冊1600円で、はままつフラワーパークや、浜名湖ガーデンパークなど11か所で計400冊を販売する。オレンジ、紫、赤の3色があり、オレンジは新色。

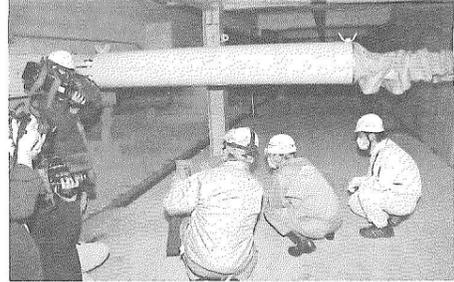
## 新型コロナ 暮らしの掲示板

- 新型コロナ・発熱等相談窓口(24時間対応)
▽静岡市 054-249-2221
▽浜松市 0120-368-567
▽両市以外 050-5371-0561
■労働電話相談
▽静岡労働局(平日午前8時半~午後5時15分)
雇用調整助成金 054-653-6116
特別労働相談 054-252-1212
▽厚生労働省コールセンター(午前9時~午後9時)
学校等休業助成金・支援金等相談 0120-60-3999
■事業者向け電話相談
▽中小企業庁持続化給付金事業コー

- ルセンター(午前8時半~午後7時、土曜祝日を除く) 0120-279-292
▽県中小企業団体中央会(平日午前8時半~午後5時15分) 054-254-1511
▽感染症対応従事者慰労金交付事業・感染拡大防止支援事業に関する電話相談(平日午前9時~午後5時)
医療機関など(慰労金) 県地域医療課 054-221-3761
医療機関など(支援金) 県疾病対策課 054-221-3393
介護施設 県福祉指導課 054-221-3243など
障害者施設 県障害者政策課 054-255-5980
■何でも相談窓口
▽県弁護士会(平日午前9時~正午、午後1~5時) 054-204-1999。ホームページ(https://www.s-bengoshikai.com/coronavirus/)では24時間受け付け。

## 時事川柳

星条旗誇りを戻すバイデン氏 伊東市 沢下 幸子
嵐止み五つの風が吹き進む 富士市 前川 裕
ひっそりとコロナに負けず梅花咲く 伊東市 内田 三郎
ふるさとを遠くさせているコロナかな 下田市 吉村 白黒
外側としみ遣



取り換えられた免震用オイルダンパーを点検する県と御前崎市の職員(1月27日、浜岡原発方スタービン発電機建屋で)

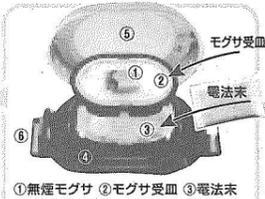
## Daiichi TV 4日のま

【宮川クラブ】朝霧高 北海道から移住! 手作 チーズ山盛り! 移動式 【いまだけ】芸能ツウ キンコン西野が吉本を 【ペコリ】用宗でオシ

USO放送
宿泊者最少
昨年はお湯に流した
熱海温泉
(富士・ワンワン)

## 初めてでも 簡単! 本格温灸術で温活!

1 最初に30分間「へそ」を温めます
●バック入り電法末を器具の底部に敷きます。無煙モグサに点火し、モグサ受皿に置きフタをします。\*火の取り扱いは十分ご注意ください。
●肌に直に当てず、器具の下に付属の調熱布を敷いて、バンドで固定します。



2 次に後ろに回して尾骨の上にある「仙骨(せんこつ)」を残り30分間温めます



# 冷えをやわらげ、しあわせめ

温める きの灸 果のある おりませ へそ して開 方は簡 と底に 湿った粉 変わり、 め、万病